

社会学研究科 ディプロマポリシー

前期課程の教育目標

1. 社会的ないし社会心理学的な発想のもとで現実社会を分析していくための基礎的・基本的な知識と実践技能を習得していること。
2. 高度に専門分化した知識を相互に関連づけるのに必要な基礎的・基本的な知識と実践技能を習得していること。
3. 専門性に基づく社会への貢献を実現化するのに必要な基礎的・基本的な知識と実践技能を習得していること。
4. 以上の知識や実践技能を用いて、社会を具体的に記述・分析して修士論文にまとめていくための能力を習得していること。

【修士学位論文の評価基準】

1. テーマの明確性
2. 先行研究への批評性
3. 論理展開の緻密性
4. 分析手法の明確性
5. 実証的な手続きの妥当性
6. 学問的な独創性
7. 社会問題解決への実践的志向性
8. 研究の将来性

後期課程の教育目標

研究者として自立して、将来的に社会学ないし社会心理学の研究に従事していくことのできる知識と能力を身につけていること。

【博士学位論文の評価基準】

アカデミズムおよび社会にたいして一定の水準を超えた優れた知的貢献が成し遂げられていること。なお、ここで「一定の水準を超える」とは、論文内容や研究成果が、当該分野における研究を確実に一歩進めるものである、ということである。